

令和7年度第1回夜間中学開校支援委員会(R7.5.12)における主な内容及び意見

説明：開校に向けての準備状況及びスケジュール

- ・夜間中学の設置・充実に向けた国・各都道府県の状況
- ・R5/R6年度設置に向けた取組、R7年度の取組及びスケジュール

協議1：基本構想について

○「学校で大切にしたいこと」

- 学校で大切にしていけることや教育目標につなげていく理念を確認できた。この方向で進めていけばよい。

○「コース設定及び1週間あたりの授業時数について」

- 生徒の自立や進路につなげられる各教科の授業時数及びコース設定を行うことが大切。
- 夜間中学を卒業した方が、高校に進学するケースもある。高校でも学べるように、中高で生徒の育成を考える必要がある。

○「1日の校時表について」「全体を通して」

- 高校と時間を同じにして、生徒にとってよりよいものになっている。
- 外国籍の方への日本語指導において、説明等は翻訳機が必要な場面もあるが、どんな言語であっても基本的に日本語を使うことは可能である。
- 通学は公共交通機関等としているが、駐車場がないことが気になる。地域の方にも理解を求めながら進めることで解決に向かうこともあるのでは。

(事務局案)

- ・学校で大切にしたいこと
①多様性 ②協働性 ③自己実現

・コース設定

- 国語3コース(スタンダード、ベーシック、日本語指導)
- 数学2コース(スタンダード、ベーシック)
- 外国語3コース(スタンダード、ベーシック、日本語指導)
- ※教科ごとに選択できる。

・校時表

校時	時刻	時間
食事	17:00～17:30	30分
	(5分)	
学級活動	17:35～17:40	5分
	(5分)	
1	17:45～18:25	40分
	(5分)	
2	18:30～19:10	40分
	(15分)	
3	19:25～20:05	40分
	(5分)	
4	20:10～20:50	40分
	(5分)	
学級活動	20:55～21:00	5分

協議2：校名について

(事務局案)

【校名候補1次選定の視点】

- ・他の夜間中学に類似する校名がないもの
- ・企業・個人等を想起させないもの
- ・立地と異なる地名など、設置する学校との相違がないもの
- ・誰もが親しみやすく、読みやすく、覚えやすいもの(書きやすいもの)

【校名候補2次選定の視点】(「事務局」にて10案程度選出の視点)

- ・複数(類似したもの)の応募があったもの
- ・新設校の設置基本方針に合致するもの、設置基本方針をイメージできるもの
- ・地域の名前等が入っているもの
- ・夢や希望のある中学校生活がイメージできるもの

協議3：生徒募集について

- 教会等に来る外国籍の方に対して、英語でのチラシがあると手に取りやすい。
- インターネットを使った周知だけでなく、ある層にとっては、回覧板等のアナログ的なものも周知方法としては効果的である。
- 「こども食堂」に来ている関係者・家族の方で、兄弟が不登校で義務教育を十分に受けられていないという話を聞く。
- スクールソーシャルワーカーは、その家庭の状況に詳しく、父や母が「文字を書けなかった」というような情報をもっているため、夜間中学の情報を提供すると周知が広がっていく。
- 外国人の方のコミュニティは、日本国中でつながっていることが多い。他の都道府県で夜間中学に通っている外国人の方に、大分県での開校に向けた情報を知らせることで、大分県の夜間中学の周知につながっていく。
- 夜間中学は、○○教室や○○講座とは違うということや、入学希望の方や関係者に入学に関するハードルが下がるような丁寧な説明が必要。
- 生徒募集については、今後も努力を重ねていかなければならない。委員のアイデアを今後も提供していく。